

〔記載例〕

著書及び発表論文		氏名	〇 〇 〇 〇
番号	著書(著者名(掲載順)、著書題目、著書名(編集者・監修者)、頁(始-終)、発行所、年(西暦)) 発表論文(著者名(掲載順)、論文題目、発表誌名・巻頁(始-終)、年(西暦))		
1	〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇 経口血糖降下剤、糖尿病学(〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇編), PP283-292, 朝倉書店, 19〇〇. (1行余白)		
2	〇〇〇〇 〇〇〇〇, 〇〇〇〇 〇〇〇〇, 〇〇〇〇 〇〇〇〇, 〇〇〇〇 〇〇〇〇 &〇〇〇〇 〇〇〇〇 Brain regions involved in the development of acute phase responses accompanying fever in rabbits. J. Physiol., 416:645-657, 1989. (1行余白)		
3	: : :		
※記載上の注意			
1, 著書及び発表論文が10編を超える場合は、主なもの10編を年代順に記載し、 その後は欄外にその編数を記載する。 なお、著書及び発表論文がない場合又は10編に満たない場合は、学会発表の記 載上の注意により記載のこと。			
2, 番号欄の番号は、著書題目及び論文題目の冒頭の行に付す。			
3, 著者名欄の氏名は、フルネームで書き、共著の場合には、掲載順に記載し、本人 の氏名に下線を引く。			
4, 著書及び発表論文間は、1行余白とし、線を引かない。			

〔記載例〕

学会発表		氏名	〇 〇 〇 〇
番号	発表者及び共同発表者名(記載順)、演題名、学会名(年月(西暦))		
1	〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇 不均一抗体から均一抗体を分離するための恒温二次元親和電気泳動装置の作成。 第62回日本生化学会大会、1989年11月。 (1行余白)		
2	: : :		
3	: : :		
※記載上の注意			
1, 著書及び発表論文がない場合又は10編に満たない場合は、次により作成する。			
(1) 著書及び発表論文がない場合 学会発表が10件を超える場合は、主なもの10件を発表年代順に記載し、 その後は欄外にその件数を記載する。			
(2) 著書及び発表論文が10編に満たない場合 10編に不足する件数を発表年代順に記載し、その他の件数は欄外にその件 数を記載する。			
2, 番号欄の番号は、演題名の冒頭の行に付す。			
3, 発表者欄の氏名は、フルネームで書き、共同発表の場合は、記載順に記載し、本 人の氏名に、下線を引く。			
4, 演題名間は、1行余白とし、線を引かない。			